

『環と輪、縁と円』

日本赤十字社診療放射線技師会 会長
清水 文孝

「環」とは、「輪」の形である。診療放射線技師になり、その職種の「輪」に含まれた。そして、日本赤十字社という「輪」に含まれ、会員の皆様との「縁」に恵まれてきたことは本当に幸せな時を共有できたと感じている。

「環」ですぐに思い起こされるのが、当方が還暦を迎えたからかもしれないが「還暦」という言葉、文字である。「還暦」という言葉を見聞きし、その文字の意味は、と自答してみても、少し調べてみたくなった。「還暦」とは、干支（十二支）が一巡し、起算点となった年の干支に戻ることに数え年を指す。本卦帰るとも言われる。昭和三十年過ぎまで、数え年での数え方だった。現在では満年齢で数えるのが通例となっている。30年を半還暦、120年を大還暦という。と Wikipedia に記されていた。これを読み、なるほどと頷いた。そこで更に調べてみたくなったのが、「干支」である。同じように Wikipedia からである。絵音の起源は、漢字圏の中国やアジア圏が発祥で殷（いん）の時代にはすでにあつたとされている。日本では、503年頃と推察されている。そもそも神話の世界観かもしれない。還暦も干支も若い人には縁が薄くなって来ていると思われるが、時事の行事に使われていることから、縁は有る物と思っていきたい。

時折見学に来られた学生に、「縁」そして「円」についての話をすることが良くある。診療放射線技師を目指し、当院を志望する学生。「縁」が有るならば、一緒に働くことになるであろう。しかし、「縁」が無ければ一緒に働くことは無い。しかし、診療放射線技師という資格において、「円」や「輪」と言う中に含まれる。そして、「縁」は無くとも「円」が有ることから、学会やセミナーなどでいっしょになることも有ると思われ、その時は食事でも一緒にしようと話す。「縁」有った学生は、当院で一緒に働いているが、「縁」が無く「円」に含まれた学生が大多数であり、学会等で声をかけられたことも有る。「縁」と「円」の話を、覚えていてくれたと喜ぶ時でもある。

当方も「縁」が有って、日本赤十字社診療放射線技師会の役員をさせていただいている。役員諸氏とも「縁」が有るからご一緒できており、人財に恵まれたことに感謝である。また、全国の大勢の会員諸氏とも面識が持てる、そんな有意義な時を与えてくれた技師会という「輪」と「縁」にも感謝である。

あと少し、日本赤十字社員として、日本赤十字社診療放射線技師会員として、皆様と「縁」がある。その「縁」を大切に育みながら、残りの期間を有意義なものとしたい。

とりとめない文章となってしまった。文才の無いのに嘆きながら筆をおくこととする。